

出演



ピアノ
伊藤憲孝



作曲・作品解説
酒井健治

PROGRAM

シューベルト/リスト：セレナーデ

酒井健治：Etudes pour Piano - premier livre

酒井健治：Piano Sonata No.1 “Quinta Essentia”

シューベルト：ピアノ・ソナタ 第19番 ハ短調 D958

※酒井健治（ゲスト出演による作品解説付き）

※曲目・曲順は変更になる場合があります

2026年10月27日（火）

開場13:30 開演14:00（終演16時予定）

HAKUJU HALL 東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5

一般 4,500円 / 学生 2,500円（当日+500円）



主催：伊藤憲孝ピアノリサイタル実行委員会 / 後援：SOUND MAGIC OKI

伊藤憲孝ピアノリサイタル《静寂と永遠の対話 — シューベルト × 酒井健治》

本シリーズは、フランツ・シューベルトの〈最後の3つのピアノ・ソナタ〉（D958 / D959 / D960）と、現代作曲家・酒井健治（京都市立芸術大学教授）のピアノソロ作品全曲を組み合わせ、2026年から28年の3年間にわたって展開する演奏会シリーズです。クラシックの名作と現代音楽を単に並置するのではなく、「静寂」「時間」「響き」といった根源的なテーマを軸に、両者を対話的に構成することで、音楽の普遍性と現在性を浮かび上がらせます。



伊藤憲孝 Noritaka Ito

1978年生まれ。アムステルダムおよびベルリンで研鑽を積み、18th Città di Valentino International Competition(伊)第1位、Golden Classical Music Awards International Competition(米)第1位を受賞。欧米・アジア各国で演奏活動を行っている。ローマでは酒井健治ピアノ作品全曲演奏会を開催し、現代作品と古典を架橋する演奏が国内外で高く評価されている。これまでの活動は、The New York Times、Die Neue Zeitschrift für Musik等に取り上げられてきた。現在、福山平成大学教授、広島大学客員教授、エリザベト音楽大学大学院非常勤講師。2025年、マツダスタジアムにて国歌独奏を務めた。



酒井健治 Kenji Sakai

大阪生まれ。京都市立芸術大学を卒業後渡仏。パリ国立高等音楽院作曲科を最優秀の成績で卒業。Ircam(フランス国立音響音楽研究所)にて研究員を務めた。作品はリヨン国立管、ルツェルン響、ベルギー国立管、N響、京響、東響、レ・ヴァン・フランセ、アンサンブル・アンテルコンタンポランなどの音楽団体によって世界初演・再演されている。2025年10月にはオペラ「平家物語 一平清盛」が下野竜也指揮読売日本交響楽団によって世界初演された。名古屋フィルハーモニー交響楽団のコンポーザー・イン・レジデンス、オーケストラ・アンサンブル金沢のコンポーザー・オブ・ザ・イヤーを歴任し、エリザベト王妃国際音楽コンクール作曲部門大賞、芥川作曲賞、ローマ賞、近年では京都府文化賞奨励賞、青山音楽賞「青山賞」など受賞し国際的な評価を確立した。現在京都市立芸術大学教授。また同大学現代音楽研究会 club MoCo顧問。

シリーズ全体構想

- 第1回 | 影の深みに燃える炎 (2026年)
- 第2回 | 幻想と覚醒のあわい (2027年予定)
- 第3回 | 静けさの果てにひらく宇宙 (2028年予定)